

| | 発行年月 | タイトル | 著者 | 販売 残部 |
|------|----------|--|----------------|----------|
| 第1号 | 昭和55年8月 | 発刊にあたって | 名越 勉 | なし |
| | | 歴史民俗資料館の建設を前にして | 矢城 正八郎 | |
| | | 近藤教授のお話を聞いて | 山本 善政 | |
| | | 小田二号銅鐸の里帰り | 名越 勉 | |
| 第2号 | 昭和56年1月 | 最近の中部地区の発掘調査について | 眞田 廣幸 | なし |
| | | 奈良の民俗博物館を見て | 朝倉 秋富 | |
| | | 「私たちの活動」 | 長尾 恵美 | |
| | | 古墳見学 | 桑野 博朗 | |
| | | 古墳を見学して | 田村 明 | |
| 第3号 | 昭和56年7月 | 秋の文化財めぐり 奥出雲「たたら」のあとを訪ねて | 斎尾 絢 | なし |
| | | 奥小山古墳群の調査について | 森下 哲哉 | |
| 第4号 | 昭和57年1月 | 北条町曲古墳 発掘調査について | | なし |
| | | 昭和56年度を迎えて | 名越 勉 | |
| 第5号 | 昭和57年8月 | 長瀬高浜遺跡について(1) | 清水 真一 | なし |
| | | 萬葉のふるさと 国府町の文化財 | 松本 達之 | |
| 第6号 | 昭和58年3月 | 「倉吉商家町並保存対策調査の成果と今後の課題」 | 小野木 重勝 | なし |
| | | 長瀬高浜遺跡について(2) | 清水 真一 | |
| 第7号 | 昭和58年8月 | 伯耆国分寺跡環境整備成る | | なし |
| | | 歴史公園開園記念講演 古代の倉吉と国分寺 | 佐藤 興治 | |
| 第8号 | 昭和59年2月 | 山際1号墳について | 根鈴 輝雄 | 6 |
| | | 上野遺跡(倉吉市三江)の子持壺 | 名越 勉 | |
| | | グループあれこれ 倉吉郷土文化研究会 民俗研究会 | 森下 哲哉 藪中 洋志 | |
| 第9号 | 昭和59年9月 | 倉吉市上神出土の祭祀遺物 | 根鈴 輝雄 | 9 |
| | | 再び国府町を訪れて | 杵島 真岐子 | |
| 第10号 | 昭和59年12月 | 奈良国立博物館美術室長 光森先生を迎えて | 松本 達之 | なし |
| | | 倉吉古文書を読む会 | | |
| | | 誕生仏発見の喜び | 牧田 朋子 | |
| | | 秋の文化財めぐり(津山周辺) | 山本 善政 | |
| 第11号 | 昭和60年8月 | 「三星踊り」あれこれ | 朝倉 秋富 | 5 |
| | | 韓国文化財めぐり | 根鈴 輝雄 | |
| | | 余録 事務局より | 大西 隆章 | |
| 第12号 | 昭和61年2月 | 松ヶ坪遺跡出土 「久米寺」銘の墨書土器 | 眞田 廣幸 | 8 |
| | | 文化財講演会より 「民俗資料のもつ意味とその活用」 | 勝部 正郊 | |
| 第13号 | 昭和61年10月 | 伯耆一の宮異聞 | 藤原 節 | なし |
| | | 関金地蔵院 地藏菩薩半跏像の修理について | 松本 達之 | |
| | | 古代のまつり 谷畑遺跡 | 土井 珠美 | |
| 第14号 | 昭和62年3月 | 悴谷の大日と六観音 | 朝倉 秋富 | 5 |
| | | 新しく国指定された文化財三件について | | |
| | | 真継文書にみる南条氏と鑄物師 | 日置桑左エ門 | |
| | | 南九州古石塔研究会員をお迎えして | 朝倉 秋富 | |
| 第15号 | 昭和62年10月 | 事務局より | | 6 |
| | | 「鳥取県の文化財」あっせん | | |
| | | 文化財講演 倉吉と密教文化 -倉吉附近の石塔について- | 齊藤 彦松 | |
| 第16号 | 昭和63年3月 | 秋の文化財めぐり 淀江町-米子市-岸本町-日野町 | 奥野 元應 | なし |
| | | 進藤文書 「足立書簡と本居書簡について」 -最近の「倉吉古文書を読む会」例会から- | 伊佐田 靖之 | |
| 第17号 | 平成元年3月 | 東アジアにおける古代の日本文化 | 町田 章 | 5 |
| | | 倉吉市が新しく指定した三件の文化財について | | |
| | | 弥生時代から古墳時代へかけての墓制について -三度舞大将塚の再検討- | 名越 勉 | |
| 第18号 | 平成元年3月 | 白鳳の誕生佛お里帰り | 松本 達之 | 7 |
| | | 敦煌をたずねて | 名越 勉 | |
| 第19号 | 平成元年7月 | 秋の文化財めぐりに参加して | 坂井 真琴 | 6 |
| | | 随想 風土記の丘に想う | 清水 義憲 | |
| 第20号 | 平成元年3月 | キビガラ人形と菊の節句 | 朝倉 秋富 | 4 |
| | | 延宝歌舞伎絵馬を確認 | 山脇 幸人 | |
| 第21号 | 平成元年3月 | 文化財講演 奈良の都と伯耆国庁について-最近の発掘例から- | 坪井 清足 | 3 |
| | | 誕生釈迦仏 特別展について | 松本 達之 | |
| 第22号 | 平成元年3月 | 秋の文化財めぐり 木食仏を訪ねて | 斎江 彰宏 | 5 |
| | | 文化財講演 「祭祀遺跡と祭祀遺物」 | 金子 裕之 | |
| 第23号 | 平成元年7月 | 倉吉博物館 蔵王権現展によせて | 松本 達之 | 5 |
| | | 「倉吉」地名再考 | 名越 勉 | |
| 第24号 | 平成元年7月 | 重要文化財に指定された 長谷寺の厨子について | 根鈴 輝雄 | 5 |
| | | | | |

| | 発行年月 | タイトル | 著者 | 販売 残部 |
|----------------------------------|-----------------|---|-------------------------|----------|
| 第20号 | 平成2年2月 | 「文化財だより」二〇号を祝う | 名越 勉 | 1 |
| | | 倉吉文化財協会の思い出ー昭和三〇年代の事務局からー | 朝倉 秋富 | |
| | | 倉吉文化財協会の思い出 | 手嶋 義之 | |
| | | 「文化財」についてほんのひとこと | 長谷川富三郎 | |
| | | 史跡・文化財の保護活用について | 山本 善政 | |
| | | 文化財協会 発足三十五周年に想う | 斎江 彰宏 | |
| | | 三徳山文書と文書目録 | 日置桑左工門 | |
| | | 秋の文化財めぐり随感 吹屋のふる里村 文化財講演 「吉備の考古学」 | 広田 判権 間壁 忠彦 | |
| 第21号 | 平成2年12月 | 文化財の風化を憂う | 伊佐田 靖之 | 5 |
| | | 倉吉文化財協会三十五周年特別講演 「くらしの中の文化財」 | 佐藤 興治 | |
| 第22号 | 平成3年1月 | 北条町に遺る近世末・近代初期の地図類について | 松本 達之 | 3 |
| | | 向山古墳群宮ノ峰支群の発掘から 事務局通信 文化課設置陳情について 他 | 根鈴 智津子 | |
| 第23号 | 平成4年3月 | 文化財講演会要旨 「名和長年と太平記」 | 富長 源十郎 | 5 |
| | | 「太平記」の時代と武家文書 太平記史跡めぐりに参加して | 日置桑左工門 福嶋 泰夫 | |
| 第24号 | 平成4年3月 | 荒尾氏墓所の修復について | 名越 勉 | 6 |
| | | 倉吉荒尾を中心とした荒尾氏について | 妙泉 弘宣 | |
| | | 荒尾氏墓所 歴代の墓碑 倉吉荒尾氏墓所整備事業基金について | | |
| 第25号 | 平成5年3月 | 文化財講演会 「大昔と現代」 | 佐原 眞 | 5 |
| | | 広瀬廃寺 | 眞田 廣幸 | |
| 第26号 | 平成5年3月 | 文化財講演会 「上淀廃寺を語る」 | 水野 正好 | なし |
| 第27号 | 平成6年1月 | 文化財講演会 「たたら吹製鉄の調査」 | 潮見 浩 | 6 |
| | | 秋の文化財めぐり 安来市史跡めぐり | | |
| 第28号 | 平成6年5月 | 不入岡遺跡の調査 | 竹中 孝浩 | 5 |
| | | 重要文化財 長谷寺本堂内厨子の保存修理ー保存修理委員会ー | | |
| 第29号 | 平成6年10月 | 文化財講演会 「大和と伯耆の前期古墳」 | 置田 雅昭 | 6 |
| | | 周堤をもった竪穴式住居ー夏谷遺跡の調査からー | 高取 英雄 | |
| 第30号 | 平成7年3月 | シンポジウム 「よみがえる古代の伯耆」開催される | | 3 |
| | | 不入岡遺跡シンポジウムを終えて | 名越 勉 松本 達之 | |
| | | 感謝 | 山根 亮 | |
| | | 広がる古代のロマン | 斎江 彰宏 清水 義憲 | |
| | | 「よみがえる古代の伯耆」シンポジウムによせて 調査を回顧し、解明を聴き、大感激! | 山崎 勇 伊佐田 靖之 | |
| | | | 野口 誠 坂井 真琴 | |
| | | | 山田 光雄 | |
| | | 「よみがえる古代の伯耆」シンポジウムに私の夢を見る | 手嶋 義之 牧田 朋子 牧田 実夫 | |
| | | | 高見 長昭 | |
| | | ロマン古代倉吉へ 古代の人々に学ぶ | 梶島 和江 | |
| | | 今回の「よみがえる古代の伯耆」について | 大岩 重夫 | |
| | | Symposium “よみがえる古代の伯耆”を聴いて | 千本 誠治 清水 敦子 | |
| | | | 山本 悟 | |
| | | 「よみがえる古代の伯耆」を聴講して | 福嶋 泰夫 | |
| | | 文化財だより 総目録 (第1号～29号) | | |
| | | 第31号 | 平成7年12月 | |
| 夏谷遺跡出土の移動式竈 | 森下 哲哉 | | | |
| 不入岡遺跡のオンドル状遺構 「秋の文化財めぐり」に参加して | 竹宮 亜也子 大岩 重夫 | | | |
| 第32号 | 平成8年3月 | 国指定重要文化財 谷畑遺跡祭祀遺物について | 根鈴 輝雄 | 5 |
| | | 奈良時代の火葬墓ー長谷遺跡 文化財情報 平成7年度 発掘調査情報 | 名越 勉 | |
| 第33号 | 平成8年12月 | 文化財講演会「年輪から古代をさぐる」 | 光谷 拓実 | なし |
| | | 大御堂廃寺出土の佐波理匙 「秋の文化財めぐり」に参加して | 根鈴 智津子 山本 悟 | |
| 第34号 | 平成9年3月 | 湯原文書の伝来 | 日置桑左工門 | 5 |
| | | 大原廃寺5次調査の成果 平成8年度 発掘調査情報 | 加藤 誠司 | |

| | 発行年月 | タイトル | 著者 | 販売 残部 |
|------|----------|---|--------------------------|----------|
| 第35号 | 平成10年2月 | 郷土玩具の復活を 大御堂廃寺の木樋 | 名越 勉 根鈴 智津子 | なし |
| 第36号 | 平成10年3月 | 倉吉文化財講演会「古代伯耆の多様な寺々」-大御堂廃寺をふまえて- 「倉吉古文書を読む会」最近の学習より 荒尾光就家譜を中心に | 森 郁夫 伊佐田 靖之 | なし |
| 第37号 | 平成11年3月 | 倉吉文化財講演会「古代出雲の弥生青銅器」 歴史に育まれたまちを訪ねて | 松本 岩雄 根鈴 智津子 | 4 |
| 第38号 | 平成11年3月 | 倉吉の町並み-重要伝統的建造物群保存地区の選定によせて- 異国のけもの -大御堂廃寺出土の獣頭 | 眞田 廣幸 根鈴 智津子 | なし |
| 第39号 | 平成11年10月 | 倉吉文化財講演会「天女伝説について」 河原町の地蔵尊について | 野津 龍 山脇 幸人 | なし |
| 第40号 | 平成12年3月 | 倉吉荒尾家本家・分家の家譜を読んで 秋色と朝霧を楽しみながら三次へ | 伊佐田 靖之 | 3 |
| 第41号 | 平成13年2月 | 倉吉文化財講演会「倉吉の木綿と千刃扱」 不入岡遺跡、国史跡に | 朝岡 康二 森下 哲哉 | 5 |
| 第42号 | 平成13年3月 | 古代韓国の文化遺産 -古都慶州の遺跡と遺物を中心に- 倉吉市は小京都？ 文化財保護法50周年記念<文化財保護功労者>に名越勉会長が表彰 | 根鈴 輝雄 名越 勉 | 5 |
| 第43号 | 平成14年1月 | 倉吉文化財講演会 土方稻嶺と円山応挙 奥出雲横田町を訪ねて | 小谷 恵造 | 5 |
| 第44号 | 平成14年3月 | 大御堂廃寺跡 国史跡指定 「国分寺シンポジウム」開催される！ 法華寺畑遺跡環境整備事業の完成 野口1号墳出土須恵器の保存修理 三明寺古墳の石積復元 | 根鈴 智津子 岡本 智則 加藤 誠司 | 5 |
| 第45号 | 平成15年2月 | 平成14年度文化財講演会 古墳時代の倉吉 弥生墳丘墓から古墳へ 秋の文化財めぐり 山名氏の風格漂う村岡藩城下町と 大乘寺の応挙の襖絵 | 和田 晴吾 | 6 |
| 第46号 | 平成15年3月 | 100年前の打吹公園 朝倉秋富先生を悼む 手嶋義之先生を悼む | 山脇 幸人 眞田 廣幸 妙泉 弘宣 | 5 |
| 第47号 | 平成16年3月 | 文化財講演会 弥生時代の山陰と畿内 -山陰弥生社会の底力を見直す- | 藤田 憲司 | 5 |
| 第48号 | 平成16年3月 | 創立50周年記念事業について 史跡 伯耆国庁跡の調査 新指定倉吉市文化財 | 名越 勉 加藤 誠司 森下 哲哉 | 5 |
| 第49号 | 平成18年6月 | 秀吉の鳥取進出と東伯耆-倉吉の情勢- 中近世の倉吉の遺跡 秋の文化財めぐり | 日置桑左工門 岡平 拓也 | 4 |
| 第50号 | 平成18年8月 | 倉吉市指定史跡「倉吉市荒尾氏墓所附位牌群」 市指定無形文化財 高城牛追掛節 | 森下 哲哉 根鈴 智津子 | 4 |
| 第51号 | 平成19年1月 | 「はこた人形」のルーツを探る 鋳物師の歴史-因伯の鋳物師を中心にして- | 名越 勉 斎江 彰宏 | 5 |
| 第52号 | 平成19年3月 | 鋳物師の歴史 「倉吉町」と刻銘された鰐口-智頭町駒帰鰐口- | 斎江 彰宏 眞田 廣幸 | 5 |
| 第53号 | 平成20年1月 | 弥生時代における地域社会の成立 地域に伝わる文化財の保存と活用について | 高田 健一 生田 淳美 | 5 |
| 第54号 | 平成20年3月 | 長谷寺の建造物について 観音信仰と長谷寺 | 松本 絵理 奥野 寛應 | 4 |
| 第55号 | 平成20年12月 | 黄泉の国の風景-横穴式石室の世界- | 亀山 行雄 | 5 |
| 第56号 | 平成21年3月 | 絵馬群にみる人々の祈り 長谷寺の縁起について 倉吉の国登録有形文化財~倉吉大店会から山陰民具まで~ | 原島 知子 大嶋 陽一 森下 哲哉 | 5 |
| 第57号 | 平成22年3月 | 青谷の骨の物語 源平合戦の舞台須磨と荒尾志摩摩就寄進の敦盛画像 | 井上 貴央 箕田 拓郎 | 5 |
| 第58号 | 平成22年3月 | 戦国時代の社会生活の一面~鳥取の記録と文書について~ 東伯耆国人南条氏と戦国社会 | 日置桑左工門 岡村 吉彦 | 4 |
| 第59号 | 平成23年2月 | 鳥取県の仏像-倉吉を中心にして- 仏像調査から | 根立 研介 | 5 |
| 第60号 | 平成23年3月 | 因幡・伯耆における中世墓の世界 ある禅僧の見た中世山陰 新指定文化財の紹介 | 中森 祥 倉恒 康一 | 2 |
| 第61号 | 平成24年3月 | 国史跡青谷上寺地遺跡を掘る 神坂墓地供養塔について 秋の文化財めぐり | 久保 穰二朗 箕田 拓郎 | 2 |
| 第62号 | 平成24年3月 | 久米郡三十三観音霊場巡りについて 倉吉市打吹玉川重要伝統的建造物群保存地区の拡大選定によせて 新指定文化財の紹介 | 根鈴智津子 森下 哲哉 | 2 |

| | 発行年月 | タイトル | 著者 | 販売 残部 |
|------|----------|--|---------------------------|----------|
| 第63号 | 平成25年3月 | 民具の保存と活用を考える 忘れられていた禅僧蘭陵和尚と倉吉の人々 | 石野 津子 坂出 祥伸 | 4 |
| 第64号 | 平成25年3月 | 大江磐代君と明治以降の顕彰活動 古文書からみる長谷寺 小鴨神社所蔵三十六歌仙額と播州宍粟郡 秋の文化財めぐり | 大嶋 陽一 原島 修 関本 明子 | 3 |
| 第65号 | 平成26年3月 | 伯耆の中世石塔 就任にあたって 秋の文化財めぐり | 池上 悟 眞田 廣幸 | なし |
| 第66号 | 平成26年3月 | 鳥取県の石造物—五輪塔と宝篋印塔を中心に— 五輪塔から墓碑へ | 中森 祥 牧田 朋子 | 5 |
| 第67号 | 平成27年3月 | 倉吉・四王寺と四天王像について 四王寺の祭りについて | 近藤 謙 櫻村 賢二 | 3 |
| 第68号 | 平成27年3月 | 今、倉吉でよみがえる山上憶良 島遺跡再考—鳥取県の縄文時代研究— | 福井 伸一郎 森下 哲哉 | 7 |
| 第69号 | 平成28年3月 | 国分寺研究の現状と課題 新登録文化財の紹介 | 上原 真人 勢村 茉莉子 | 9 |
| 第70号 | 平成28年3月 | 軒瓦から見た伯耆国庁と国分寺の造営 「伯州瀧山寺」銘の鰐口 | 妹尾 周三 眞田 廣幸 | 16 |
| 第71号 | 平成29年1月 | 伯耆国分寺跡の発掘調査—昭和40年代のころ— 新指定・登録文化財のご紹介 | 名越 勉 伊藤 泉美 | 10 |
| 第72号 | 平成29年3月 | 矢送庄の成立と伝説矢留荒神について | 牧田 朋子 | 15 |
| 第73号 | 平成30年2月 | 倉吉往来土橋 万延2年「御普請部屋日記」より 新指定・登録文化財の紹介 | 牧田 朋子 猪口 亜也子 | 18 |
| 第74号 | 平成30年3月 | 平成29年度文化財講演会 倉吉ゆかりの文化財の魅力 吉田保水筆「五百羅漢図」・狩野探幽筆「荒尾嵩就像」 鳥取県中部地震の被害と復旧状況について | 門脇 おつみ 根鈴 智津子 | 9 |
| 第75号 | 平成30年12月 | 中世東伯世の水運 羽衣石南条氏と伊勢の橋村家文書 謎の城跡—四十二丸城跡— | 日置 左工門 眞田 廣幸 | 8 |
| 第76号 | 平成31年3月 | 平成30年度 第31回倉吉学講座 名和長年とその一族 緑陰に眠る山寺跡—船上山— | 山本 隆一朗 眞田 廣幸 | 21 |
| 第77号 | 令和2年2月 | 令和元年度 文化財講演会 古代寺院建設の波、山陰へ —大和飛鳥寺から伯耆大御堂廃寺跡への流れ— 大御堂廃寺の設計を復元する | 花谷 浩 根鈴 智津子 | 9 |
| 第78号 | 令和2年3月 | 令和元年度 第33回倉吉学講座 国特別史跡 斎尾廃寺跡を考える 令和元年度 秋の文化財めぐり | 野口 良也 事務局(片岡) | 8 |
| 第79号 | 令和3年1月 | 令和元年度 第34回倉吉学講座 倉吉荒尾家の菩提寺・位牌所と墓所 「倉吉陣屋」の建物について | 大嶋 陽一 眞田 廣幸 | 7 |
| 第80号 | 令和3年3月 | 令和2年度 文化財講演会 古代・中世山寺の新視点 ～三仏寺・大日寺を中心に～ 『伯耆民談記』に記された大日寺 新指定・登録文化財のご紹介 | 久保 智康 眞田 廣幸 事務局(猪口) | なし |
| 第81号 | 令和4年3月 | 「長谷寺の鐘」銘の国英神社梵鐘の銘文を見直す 『長谷寺の歴史 1300年の祈り』を読んで考えたこと | 眞田 廣幸 大嶋 陽一 | 90 |
| 第82号 | 令和4年3月 | 史跡大御堂廃寺跡整備基本計画 ～感じる！伝える！！山陰が誇る大伽藍と仏教文化～ 大御堂廃寺跡出土遺物の分布傾向とその再検討について 大御堂廃寺軒丸瓦Ⅷ類の変遷 | 山増 諭美子 小田 芳弘 箕田 拓郎 | 112 |
| 第83号 | 令和5年3月 | 弥生時代の鉄器文化—倉吉・中尾遺跡出土鉄器に触れて— 中尾遺跡の概要～弥生時代中期の集落を中心に～ | 村上 恭通 片岡 啓介 | 52 |
| 第84号 | 令和5年3月 | 海又1号墳について | 高田 健一 | 44 |